

書籍「お仕事ががんばります」を読んで

「雑学」バックナンバ - 書籍等読後感関係 () P 2005.4.4.で紹介している書籍「お仕事ががんばります」を、読み終えた。

既著の2冊：「自閉症の息子と共に ありのままの子育て」、「自閉症の息子と共に 自立への子育て」の読後感(「雑学」バックナンバ - サイト書籍等読後感関係 () P : 2004.8.29.「母親というより、正に教育実践家！」：参照)でも触れたが、繰り返しの感想になるが、やはり著者であるこの母親は、凄い！ その行動力には、圧倒されっ放し！

子育て、家庭、薬剤師としての勤め、社会法人運営、講演、等々をしながらの原稿を書く能力、エネルギー - が、まず凄い！母親としての感情、思いの表現だけでなく、スキルを具体的に記しているところが、また凄い！それを記すだけの記録を、その時々録っていたことが、これまた凄い！（親としての記録のスキルまで記してくれている。）

うまく表現できないが、「思うこと」と「考えること」は違う。著者は、子育ての折々に「思った」ことを「考えたこと」にまで昇華している。これまた、凄い！

折々考えたことを、スキルとして(例えば、数字として覚えるだけでなく数概念としての教え方の工夫、地域の理解・協力を得るための工夫、等々)、また、その解説まで記しているの、他の親の子育てに、また、地域福祉に取り組む人に参考になるだろう。

また、我々、障害児・者に係わる者としての反省と検証を促される。

著者は「専門家は、指導や助言以上に、親の不安感を取り除いてください。親にエネルギー - をいっぱい与えてください。そうすれば親子で前向きに生きていく勇気が生まれます。

それは、障害を治すことと同じくらい、いえ、それ以上にありがたいことです。」と記している。

このことは、私たちはついつい、まず相手を理解しようとしがちであるが、それ以前に、相手から理解者と思われるように、まずは本人、ご家族の思いに寄り添って支援することの大切さを示唆していると思う。

障害児・者への支援に関係機関(者)は、往々にして「前例がないから……」と逃げ腰が多いが、著者は30数年、ご子息の思いに寄り添い、「前例がないなら、前例になろう！」と色々なことにチャレンジし、実現してきた。

これからも、真の「地域で生きる」の意味を実現すべく、サポートセンタ - 活動にチャレンジしている著者とその仲間に、エ - ルを贈りたい！

追伸：私の当感想が著者たちのサポートセンタ - 活動の機関誌「あおぞら」に載せて下さいましたので、そのコピー - は2Pに、また、出版社の書籍案内・紹介パンフ(コピー -)は3Pに、転載しましたのでご覧下さい。

(2005年4月16日 記)



「お仕事がんばります」

明石 洋子 著

本の詳しい紹介は同封の別紙プリントをご覧ください。

徹之さんの成長と共にあおぞら共生会の歴史が描かれています。
「地域でともに生きる」を標榜した実践活動が全国の皆様のお役に立てれば幸いです。
「あおぞら共生会」としては「苦しいときこそ発想の転換を。前例がないなら前例になろう」というチャレンジ精神で今後も活動を続けたいと考えています。

（dekunobo さんより）

当ホームページで紹介している書籍「お仕事がんばります」

を読み終えた。既著の2冊でも触れたが、やはり著者であるこの母親は凄い！その行動に圧倒されっ放し！子育て、家庭、薬剤師としての勤め、社会福祉法人運営、講演、等々しながら原稿を書く能力、エネルギーがまず凄い！母親としての感情、思いの表現だけでなく、スキルを具体的に記しているところが凄い！それを記すだけの記録を、その時々には録っていたことが、これまた凄い！（親としての記録のスキルまで記してくれている）～中略～ 折々考えたことを、スキルとして（例えば、数字としてだけではなく、数概念としての教え方の工夫、地域の理解・協力を得るための工夫、等々）、また、解説まで記しているの、他の親の子育てに、また地域福祉に取り組む人の参考になるだろう。また、我々、障害児・者に係る者としての反省と検証を促される。著者は「専門家は、指導や助言以上に親の不安を取り除いてください。親にエネルギーをいっぱい与えてください。そうすれば親子で前向きに生きていく勇気が生まれます。それは、障害を治すことと同じくらい、いえ、それ以上にありがたいことです。」まずは本人、ご家族の思いに寄り添って支援することの大切さを示唆していると思う。障害児・者への支援に関係機関（者）は往々にして「前例がないから・・・」と逃げ腰が多いが、著者は30数年、ご子息の思いに寄り添い、「前例がないなら、前例になろう！」といろんなことにチャレンジし、実現してきた。これからも、真のサポートセンター活動にチャレンジしている著者とその仲間へエールを送りたい！

お寄せいただきました「読後の感想」の中から一部を紹介させていただきます。



（みいねこさんより）

家のパソコンが壊れたので、携帯からメールしています。明石さんの本が待ち遠しくて、発売前からぶどう社さんに注文して送ってもらっていたのです。三冊目も素晴らしいご本で自分のホームページで紹介しなくちゃと・・・～中略～ 思えば私が我が子たちもなんとか就職をと目標をいただいたのは4年前の倉敷での明石さんの講演会でした。それからは明石さんの本に言葉に存在に勇気と力をいただきがんばって長男は一般就労できました。勤務先は奇しくも倉敷です。これからも息子たちが徹之さんのように素晴らしい笑顔でいられるように頑張ります。本ですが、贈っていただいたほうを宝物にして、自分で買ったほうを息子の学校に寄付することにします。明石さんの勇気と元気の輪がたくさんに広がりますように。



明石洋子 著

付録

ありのままの子育て

好評5刷

自閉症の息子と共に ①

本体一七〇〇円＋税
A5判・176頁

自立への子育て

好評4刷

自閉症の息子と共に ②

本体一七〇〇円＋税
A5判・176頁

お仕事がんばります

待望の新刊!

全3巻
完結!

自閉症の息子と共に ③

本体二〇〇〇円＋税
A5判・208頁



***戸部 けいこさん** 明石洋子さんは、子育て、大人育ての天才!
(「光とともに…」の漫画家) この本には、人が幸せになる知恵と勇気と行動があります。

今、川崎市の公務員として働く、知的発達障害の重い自閉症の明石徹之さんと、お母さんが、NHKテレビで紹介され、大きな反響を巻き起こしました。「溢れる笑顔はどこから?」「どんな子育てをしたの?」その答えが、三冊の本の中に書かれています。

『ありのままの子育て』では——
超多動の徹之に振り回されながら、どう育てていったらいいかわからず涙に泣いていた時代から、地域に飛び出して行って、地域を耕しながら仲間や支援者を見つけ、いった過程を書きました。

『自立への子育て』では——
家庭で、日々の生活の中で、ことば・トイレ・偏食・こだわり・お手伝い・お金など、生活に必要なさまざまな力を、どうやって育てたか、どうやってつけたかを、その教え方の知恵や工夫を細かく具体的に書きました。

『お仕事がんばります』では——
中学時代から「働いて楽しむ」を目標に、定時制高校では楽しい高校生活を送りながら、作業所や街のお店で働く体験をし、卒業後は公務員試験を突破して、川崎市職員として働いています。その歩みをていねいに書きました。

ぶどう社 東京都千代田区神田小川町3-5-4 お茶の水S.C. 905 TEL 03-5283-7544 <http://www.budousha.co.jp>

*全国主要書店で発売中。どこの書店からでも注文できます。

*ぶどう社へ注文していただければ、すぐお送りします(送料サービス、代金あと払い)

FAXでどうぞ ⇒ 03(3295)5211

お仕事がんばります	自閉症との出会い
ありのままの子育て	ここをラクにあたまをクリアに
自立への子育て	うちの子かわいいうつ親ばかり日記
自閉症・成人期にむけての準備	ぼくはうみがみたくなりました
自閉症の人たちのらいふステージ	この学校好き!
自閉症のトータルケア	自閉症・学習障害を遠いかけて
自閉症の治療教育プログラム	

●お名前

●お送り先
〒

●お電話

注文書